

## 市内の想定浸水エリア ゼロへ！ 水路の機能増強工事を一気に進めます

～約38ヘクタールあった浸水による被害面積をゼロにします～

令和2年(2020年)3月31日(火)

箕面市では、市内の想定浸水エリアをゼロにするため、水路の機能増強工事を一気に進めます。これまでに、浸水が想定される全54か所の水路のうち、22か所の工事を完了しており、令和2年度からは、残る32か所の工事を実施していきます。

令和3年度末までに、すべての水路の整備を完了し、工事着手前には約38ヘクタールあった想定浸水エリアをゼロにすることをめざします。

### 1. 概要

箕面市では、市内の想定浸水エリアをゼロにするため、水路の機能増強工事を一気に進めます。

#### ■これまでの取り組み

本市では、平成26年のゲリラ豪雨により、大規模な浸水被害が発生したことを受け、全市域の地形や河川・水路・雨水管などの水の流れを分析し、コンピュータによる降雨シミュレーションを実施しました。その結果、想定浸水エリアが、市内に54箇所(計約38ヘクタール)あることが分かりました。この結果に基づき、平成28年度に「箕面市水防整備指針」を策定し、これまでに全54か所のうち22か所(計約13.4ヘクタール)の対策工事を完了しました。

#### ■今後の取り組み

令和2年度からは、緊急自然災害防止対策事業債が市町村事業の道路防災目的にも拡大されるため、これを機に水防対策を加速させ、残る32か所(計約24.3ヘクタール)の工事を、令和3年度末までに完了します。指針で定めた計画期間を4年間前倒しし、工事着手前には約38ヘクタールあった想定浸水エリアをゼロにします。

### 2. 工事について

#### (1) 工事内容

浸水が想定される水路について、以下の工事を行い、浸水被害を防止します。

- ・既設水路の断面を大きくし、流下能力を高める
- ・水路を新設し、流下能力の高い水路にバイパスする
- ・分水堰を設置・廃止するなどして、水路ごとに適切な水量が流れるよう調整する など

#### ■整備例：水路の断面を大きくした工事



(2) 予算額

■ 308,804 千円

※緊急自然災害防止対策事業債(道路防災)を 100%充当します。

問い合わせ先

みどりまちづくり部 水防・土砂災害対策推進室

電話：072-724-6767（直通）